

終章

計画の推進にあたって

① 推進体制

計画が示す将来像を実現するにあたっては、生産者、関連事業者、市町村、県民がそれぞれの役割を認識し、果たしていくことが必要です。

県は、関係者の意欲的な取り組みに対して重点的な支援を行うとともに、透明性を確保しながら、効果的、効率的な事業の実施に努めます。

(1) 生産者、関連事業者の役割

この計画に掲げた目標を達成するためには、生産者や関連事業者が主体的に取り組むことが基本です。

生産者にあっては、技術や経営能力の向上に努め、意欲と誇りを持って生産活動に取り組むとともに、地域において、担い手相互の役割分担等について合意形成を進めながら、地域の望ましい姿の実現に向けて、積極的にリードしていくことが必要です。


また、市場や食品関連産業等の事業者は、生産者とともに食の安全・安心の確保に努め、多様化する消費者ニーズに的確に対応できるよう事業展開を図っていくことが必要と考えられます。

農林水産業と食品等関連産業は、ともに食料の安定供給や地域の経済・雇用を支える重要な役割を果たしていることから、両者は互いに連携をとりながら、バランスよく発展していくことが望まれます。

このような点に留意しながら、県は意欲ある生産者や関連事業者を積極的に支援します。

(2) 団体の役割

農業協同組合、森林組合、漁業協同組合、農業公社等の農林水産関係団体は、地域農林水産業のマネジメント組織として、組織・経営基盤の強化に努め、生産者の要請に応えながら、地域農林水産業の確立と農山漁村の活性化に十分な機能発揮が求められています。



県は、これらの団体に対して適切な指導・支援を行いながら、連携して地域農林水産業の振興に努めます。

(3) 市町村の役割

市町村は地域に最も身近な地方公共団体であり、地域における農林水産業振興の主役というべき役割を担っています。

県は、市町村の創意に基づく自主的な取り組みが効果的に実施されるよう支援するとともに、県内農林水産業と農山漁村の調和のとれた発展を目指していきます。

(4) 県民の理解と協働

この計画が目指す本県農林水産業の将来像を実現するためには、県民が農林水産業・農山漁村の役割を理解することに加え、広く地球環境問題や循環型社会への転換など、消費生活における県民のより高い意識に基づく協働が不可欠です。

そのために県は、今後の本県のあるべき姿を見据えたうえで、積極的に県民との対話や交流の場を設け、議論をし、情報交換を行いながら、効果的で効率的な施策の展開に努めていきます。

② 進行管理

この計画に位置づけられた各種施策の進捗状況や成果を把握し、政策・施策評価、事務事業評価により評価・公表します。

併せて、その達成状況や取り組むべき課題について市町村・団体等と検証するとともに、本県農林水産業の現状を生産者・一般県民に広く知らせるため、毎年、報告書を作成し、公表します。